

女のからだ

子宮内膜症って何？



Q 三〇代の女性です。月経はキチンとあるのですが、月経痛がひどく長く続きます。また、結婚して数年たちますが、不妊で悩んでいます。子宮に異常があるのでしょうか？

A 最近、子宮の病気で子宮内膜症が増えています。特に三〇代から四〇代の女性に多く、卵巣の働きが良く排卵もきちんとある人ほど症状がひどいのです。月経痛・不正出血・過多月経・腰痛・下腹痛・性交痛・不妊など、気になる症状がある場合は子宮内膜症が考えられます。

進行するとこんな症状が……

子宮内膜症は子宮の筋肉内に発生して、子宮筋腫と合併する事があります。月経痛・過多月経・不正出血・不妊・下腹痛・腰痛などの症状をひきおこします。子宮以外の場所では、卵巣で発生するケースが多く、不妊の原因の一つになっています。また、月経痛・下腹痛・腰痛・性交痛などの症状がみられます。進行すると、臓器の癒着が強くなり、手術も非常に困難になってきます。

自覚症状に注意し早期発見・早期治療を

このように、子宮内膜症とは女性の重要器官に起きる病気で、今のところなぜ発生するのか原因がわかっていません。ですから、痛みなどの自覚症状に注意し、少

めるのが一番の予防策だといえます。また、子宮内膜症が原因の不妊も、治療や手術によって治るケースがありますので、婦人科医に相談する事をおすすめします。



(子宮内膜症とは?)

子宮内膜とは、子宮の内壁を覆い、妊娠した際に受精卵のベッドの役目を果たすものです。妊娠しなかった場合は月経となつて体外へ出ていきます。しかし、子宮の中以外にも発生し増殖する細胞です。月経と同様に出血を毎月繰り返しますが、月経とは違い体外に排出されないため、血液がたまってしこりをつくり、まわりの臓器と癒着し

子どもの心の健康(第3回)

母と子の



大分大学教育学部 助教授 小林隆児

3歳9カ月の時、C子に会いました。母の心配は話しかけても反応しないということでした。でも言葉の遅れはありませんし、創造力もあり、運動発達も良好でした。乳児期まで特に発達の異常も無かったようです。でも1歳6カ月頃から母の語りかけを無視するようになったのです。面接場面で母子の交流場面を観察していると、この子がどうして母の呼びかけを無視せざるをえなかったか想像出来るような気がしました。

C子が診察室の机の引き出しを開けて色鉛筆を取り出そうとしたところ、母は「C子ちゃんのではないでしょ！駄目よ！閉めなさい！」とこちらもびつくりしました。C子はそれを無視して、「はい。どうぞ。黄色の鉛筆」と独り言をつぶやきながら一人芝居をしているのです。さらに驚いたことには、C子が椅子に足を引っかけて転び痛がっている、母は「痛くないでしょ！」と大声を張り上げるのです。子どもの自我感情を受け止めるべき存在であるはずの母にそうした心のゆとりが無いのです。こうした関係が長く続いたためか遊んでいるC子に私が近づいても脅えたように即座に逃げ回ってしまうのです。まるで母から叱られるのを避けるように、C子は恐らく自分を守るためには母の言動に直接さらされないように相手に無視したり、自分のファンタジーの中に逃げ込むしかなかったのではなにかと想像されました。

やさしい年金教室 年金加入者に対する住宅融資制度

年金加入者に住宅資金を貸す制

●厚生年金に加入している人



ます融資を受けるためには次のような条件が必要です。

①申し込む時、厚生年金保険、または国民年金の加入期間が合わせて三年以上あること。

②申し込む日現在、満75歳未満(国民年金加入者は六五歳未満)の人。

その他、申し込み方法など詳しい事は銀行(住宅金融公庫取扱店)へお問い合わせください。

INNOVATION...